

議会だより



第150号

平成29年7月25日

椰子の木でイメージアップ



海外観光客誘致事業	補正予算	2
日高中学校大規模改修	工事契約	3
公共交通を町づくりの視点で	一般質問	4～5
学童への進入路改善を	委員会レポート	6

【発行】 日高町議会 〒649-1213 和歌山県日高郡日高町大字高家626
【編集】 議会広報特別委員会 TEL (0738) 63-3810 Eメール gikai1001@town.wakayama-hidaka.lg.jp

6月定例会

第2回定例会は6月13日から20日まで、8日間の会期で開催した。

今定例会には報告4件、議案10件が提案され、慎重審議の結果、それぞれ原案のとおり可決した。

一般会計補正予算

既定の予算額に3470万9千円を追加し、総額43億1697万3千円とする。

—主な内容—

シテイプロモーション・海外観光客誘致事業2016万2千円、長寿社会づくりソフト事業費交付金100万円、小規模土地改良事業360万5千円、小規模がけ崩れ対策事業負担金67万円、地域防災組織育成助成事業200万円など。

● 工商費の内訳の説明を。

● 産業建設課長 旅費につ

いては、地方自治体職員旅費が補助金の対象とならないことから、独自で

計上した。東京へ2人、埼玉へ4人、ベトナムへ3人分を計上している。

シテイプロモーション事業は、クエフェア開催480万円、鍋グランブ



観光に訪れたハイさん一家（前列）

リ830万円、海外観光客誘致事業600万円である。

● シテイプロモーション事業と海外観光客誘致

事業は、1つの事業費で一体に進めるということ

が。どこが主体となって進めていくのか。

● 産業建設課長

今まで商工会が主体となっていたクエフェア、クエ鍋グランプリ、ベトナム観光客誘致事業を引き継いで、大々的に進めていく。商工会を中心に展開してもらうように計画している。

● 観光客の誘致事業と、クエ料理、町産品等の新

商品の開発等も、この事業の中に含まれている。

● 何力年計

画となつて

るのか。

また、総事業費は幾らと試算している

● 産業建設課長

地方創生の交付金対象で

あり、KPI指標目標をみながら、3年までは国費の対象となる。

今年が1910万円、来年度は1300万円、再来年は1300万円。

KPIの見直しで収益が上がるようだったら続けていける。収益が上がらなかつたり、採算が採れないとなると、見直しをしていかなければならないと考えている。

● 災害対策費200万

円の説明を。

● 総務政策課長

小浦地区において、津波被害等から逃れるために、高台へ

設置する防災倉庫、ならびに資機材一式である。



防災倉庫設置予定場所（小浦）

● 防災倉庫の設置場所と、資機材の内容の説明を。

● 総務政策課長

防災倉庫は、小浦味の配水池の空いた部分に設置を予定している。

資機材は、脚立、投光器、電動ドラム、チェンソー、ウィンチ、発電機、飲料水タンク、折りたたみのポリ容器、ライ

ト、防水シート、毛布、ジャッキ、LEDランタン、ラジオ、メガホンなどである。



問 長寿社会づくりソフト事業費交付金100万円について、財源が雑入となっているが、財源の出所と交付金の使用目的の説明を。

産業建設課長 長寿社会づくりソフト事業費交付金は、公益財団法人地域社会振興財団の補助金である。

事業主体は、「徳本さんで日高おこし隊」である。

問 講演会や展示会、商品開発から販売というような事業を計画している。事業費は177万3180円で、その内100万円が補助金である。

工事請負契約

比井漁港集落道改良(その2)工事
契約金額 6004万8千円
契約の相手方 株式会社 中村建設

5月25日、7社による指名競争入札の結果、株式会社 中村建設が落札した。
 落札率 94・84%。工期 平成30年2月2日。

問 比井漁港集落道改良(その2)工事の施工場所。へ繋がっている。施工場所は比井小学校側である。

産業建設課長 避難道路で、比井の海側から比井小学校の少し北側の県道を予定している。



避難道路を整備(比井)

日高中学校校舎大規模改修工事
契約金額 2億7788万4千円
契約の相手方 株式会社 中村建設

5月30日、6社による指名競争入札の結果、株式会社 中村建設が落札した。
 落札率 92・68%。工期 平成30年3月30日。

条例改正

日高町国民健康保険税条例の一部を改正

財源を確保するため、一人当たり税額を9・27%引き上げるもの。

問 一人当たり平均9・27%の税額アップということだが、一般会計からの繰り入れをして、税額を抑えるということを検討されなかったのか。

副長 平成28年度が医療給付費の増加などがあり、厳しい状況であった。税負担を抑えたいということはあるが、平成28年度の実績のこともあり、状況を見ながら取り組んでいきたい。

国民健康保険税引き上げ

項目	基礎課税分(医療給付費分)		後期高齢者支援金分		介護納付金分	
	改正前の税率・金額	改正後の税率・金額	改正前の税率・金額	改正後の税率・金額	改正前の税率・金額	改正後の税率・金額
所得割額	7.25%	7.90%	2.70%	2.10%	2.23%	1.95%
資産割額	30.00%	33.00%	10.80%	9.20%	11.70%	11.60%
均等割額	28,200円	33,600円	10,200円	9,500円	12,200円	12,000円
平等割額	22,700円	26,600円	8,200円	7,500円	6,400円	6,300円

未来をきづく

Q & A いっぱん質問



土曜1日保育を1カ所かどうか

土曜1日保育の実施を

榮 茂美 議員

町長 適切な時期に実施したい

榮 今の土曜保育は、保護者のニーズに合っていないと思うが、保育の利用時間と利用人数は。

町長 土曜保育は、午前8時から12時までで、利用者は内原保育所で5人程度、志賀保育所で10人程度、比井保育所の利用者はいない。

榮 今の社会は働き方が多様化していて、土曜・日曜・祝日も働かざるをえない保護者もいる。本来、働く保護者を支援するのが保育所の目的ではないのか。

町長 土曜1日保育のニーズは低くないと思うが、実現するには保育士の安

定的な確保が重要で、それが出来ると判断できた適切な時期に実施したい。

榮 各保育所で行っている土曜半日保育を、1カ所で1日保育を行えばどうか。

町長 1カ所に集めての保育は、子どもにとっては、いつもと違う環境への適応の問題があり、保育士にとっても慣れない施設での保育となり、また、日頃接していない子どもも多くなることから、その子その子にあった保育の仕方が難しくなる恐れがあるなど、保育の質を維持する事に懸念があり、実施する考えはない。

榮 本当に、こうした懸念の声が現場にあるのか。
町長 現状は、やはり少し厳しいのではないかと



子ども達に生きた英語教育を

の判断である。

榮 町長の公約「土曜1日保育の実施」は、今年度中、つまり町長1期目の任期中に実現できるか。

町長 9月までは現状維持となるが、それ以降、来年5月10日の任期までに努力していきたい。

国語の指導は、教科化された後も、学級担任が学習指導要領に基づき丁寧に確実に指導することが主体であると考える。

榮 英語を母国語とするネイティブスピーカーがいる環境では、いかに子ども達の英語力が伸びるかの例がある。小学校にも、外国語指導助手（ALT）の配置が必要ではないか。

教育長 教職員は、自分の担任する子ども達に対して、様々な教科を授業として取り組んでいくのが本来の姿であり、教育委員会としては、十分にそれをサポートしていく。

榮 例えば、比井小学校にALTを配置して、英語教育に特化した小学校として、小規模特認校制度を導入する考えはないのか。

教育長 教育委員会としては考えていない。

榮 3年後の平成32年度から、小学校の英語教育は、5年生から教科化に、3年生から必修化が完全実施される。今後、小学校に英語の専科教員が必要ではないか。

教育長 小学校における外

他の一般質問
「日高町の拠点整備事業とは」



西岡 佳奈子 議員

学校司書の採用、配置を 教育長 検討していきたい



司書の配置で学校図書室の充実を

西岡 今年度からの学校図書館図書整備等5カ年計画では、その前の計画に比較して約1.3倍の地方財政措置となっている。学校司書の採用、配置を。

教育長 人材の確保や予算面での課題等が考えられ、現状では難しい。学校支援員の有効活用という視点から、図書館の充実にむけた具体案を検討していくよう指導していきたい。

西岡 図書の実、図書

の活用には大きな役割を果たすのが学校司書だと思う。財政措置が増やされる中で、美浜町や日高川町では採用してきている。学校支援員は、その目的があって雇用しているのだから、学校図書についての事務も求めるというのとは違うのではないかと学校図書館を充実させていくためには学校司書の配置が必要だと思いが。

教育長 必要だとは考える。今後、配置について検討していきたい。



バス・タクシーは重要な公共交通

公共交通を町づくりの視点で

西岡 当町の高齢者外出支援事業は独自施策として喜ばれているが、この施策でカバーできる範囲は限られている。通院や買い物などの日常生活、人権としての移動権を考え、公共交通の充実、交通弱者の支援に本気で取り組んでいきたい。

町長 高齢者外出支援事業も実施から6年が経過

し、事業が根付いてきている。制度の充実を検討していきたい。

西岡 免許証を返納したドライバーに対する支援制度検討の考えは。

町長 十分検討していきたい。

西岡 交通弱者は75歳以上の高齢者だけではないと思うが。

町長 重度心身障害者の方には福祉タクシー券の制度で助成している。拡大について検討していきたい。

西岡 高齢者外出支援事業、福祉タクシー券ともに福祉的な施策として充実していただきたい。

一方、近年の法整備の中でいわれているのは、バスやタクシー、鉄道など地域公共交通を社会資本として位置づけ、町づくりの視点で考えることが必要だということである。日高町の町づくりの一つの柱にしていきたい。

町長 そうできれば理想だが、地形の問題など難しいと考える。今後、複数自治体で取り組む事業が計画された場合には、積極的に検討していきたい。

西岡 待っているのではなく、提案をしていただきたい。

町長 機会があれば、していきたい。

委員会レポート

総務福祉常任委員会

保育所の今後について

地方新聞に「平成31年度に保育所民間委託」が掲載されたことについて、担当課の考え方を聞いた。担当課長からは、

『年々、退職等で正職員が減少している。』

『臨時職員の確保が非常

に困難になっている。』

『今後、正職員の採用が困難等の理由により、民間委託の方向で考えている。』とのことであった。

その後、民間委託した場合の費用分析の概算等の詳細説明を受けた。

委員からは、
『基本的には町が責任をもって保育すべきである。』



民間委託問題に揺れる保育所

『民間委託した場合のメリット・デメリットが分かりづらい。』
『費用が安くなるだけの理由では反対だ。』
『民間委託するのであれば土曜日の1日保育の確約が条件だ。』

『子ども（園児）にとって最善の施策なのか。』などの意見が出た。
委員会としては、保育業務は保護者が安心して子どもを預けられる環境を整えることが最も重要であると考えている。
この点を民間委託することによって向上出来るかどうか検討・協議を求めたい。

産業教育常任委員会

第1学童保育所を視察

4月1日に開所した第1学童保育所は、1階平屋建て床面積144㎡、収容予定人数最大60名、駐車スペースが9台の施設となっている。

天井も高く広々とした空間で、トイレ設備も充実しており、全体の造りは紀州材を使用している。特に床については子供達も居心地が良いとの評価であった。

委員会でも良い施設だとの評価であったが、駐車場廻りに街灯がなく、また、駐車場を出てすぐの道路が狭くなっているため、安全面を考えると早急に駐車場に街灯の設置と、一部道路拡幅を実

施するように執行部に求めた。
国道からの進入路については、送迎の車による混雑が予想されるため、現在の道路幅員2.5mでは通行に支障を来すことが想定される。幅員5mの待避所を設けることで解消する計画であるとの説明を受けた。
委員会では待避所においては問題はなだろうとの意見であったが、国道から進入する際の入口には、両サイドにフェンスがある為、普通車やワンボックス車だとフェンスが気になり入りづらいとの意見が多く、執行部に早急にフェンスの改善を強く要望した。
また、待避所完成後の街路灯の設置も求めた。



狭くて改善が必要な進入道路

編集後記

今定例会も、議案10件、全て原案通り可決されて閉会しました。町を取り巻く状況は困難を極めていますが、明るい話題として、産湯海水浴場に椰子の木が植えられ、ミストシヤワーも設置されました。
今年の夏は是非、産湯海水浴場へ足を運んでみて下さい。
夏本番を迎えて、お体ご自愛下さい。

清水 和人

